

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：平成 29 年 11 月 29 日（木）18：00～19：30

場所：北見赤十字病院 北館 3 階 大会議室

1. 講演『認知症・高齢者の精神症状 ～症例を通して～ 』

北見赤十字病院 第一神経精神科部長 兼 精神保健対策推進室室長

嶋田 進一郎

2. グループディスカッション 講演の感想、実践の振り返り、気づき、困難事例等



上記内容にて研修会を開催致しました。当日は平日にも関わらず、医療保健福祉に従事する関係者 8 名の参加がありました。

講師の嶋田進一郎氏から、様々な症例を基に認知症診断の実際についてお話頂きました。症例ごとに精神症状、既往歴、記述式検査結果、MRI・RI 画像をご提示頂き、それらに基づく診断や治療経過を分かり易くご説明頂きました。

例えば、同じように幻覚を伴う症例であっても、レヴィ小体型認知症と、せん妄の場合があります。その場合、環境変化の有無、精神症状の日内変動や特定部位の脳血流低下（RI 検査画像）等にて鑑別診断を行います。

また、認知症が疑われる場合でも、本人・家族が希望しない場合は無理に服薬を勧めず、先に本人が希望したりハビリを開始した例もあります。治療を継続し、本人が ADL 低下を自覚してから、予防的処方と説明し、内服を勧める方法もあります。医療に繋げること、治療継続を優先しての判断です。

運転に関して、精神症状により危険と判断すれば免許返納を本人に勧める場合もあります。本人・家族の生活に配慮し、治療を展開している様子が伺えました。

上記講演を受け、グループディスカッションを実施しました。参加者が抱える困難事例の話題など、今後予定している事例検討会に繋がる熱心な意見交換の場となりました。 以下、参考資料。

【認知症】

- ・痴呆症（Dementia）＝認知症（2004 年 12 月）
- ・後天的な原因による広域な脳障害のために生ずる持続性の認知機能（知的機能）の障害とそれに伴う精神症状
- ・記憶障害（新しい情報を覚える能力の障害、獲得した情報を思い出す能力の障害）が必須。その他に、いくつかのカテゴリーの認知機能の障害を認める

（米国精神医学会 DSM-IV）

【認知症を呈する主要な疾患】

- ・アルツハイマー型認知症
- ・脳血管性認知症
- ・レヴィ小体型認知症
- ・前頭側頭葉変性症
- ・その他の認知症

可逆性の疾患（治る認知症）

- ・甲状腺機能低下症
- ・慢性硬膜下血腫
- ・正常圧水頭症
- ・ビタミン欠乏症

【せん妄と認知症】

■意識の変化　せん妄は意識が病気によってぼんやりとして、概ね障害に支配されていますが、認知症では意識自体は正常です。

■発症　せん妄では発症時期が明確で特定できますが、認知症は発症時期はほぼ特定できません。

■経過　せん妄の症状は一過性であるのに対して、認知症では持続的です。

■症状の動揺性　せん妄では、症状の発症によって動揺しますが、認知症では多少の動揺はあっても目立つことはありません。

■精神症状　せん妄では、幻覚が見えたり興奮することが多く、かつ精神状態が変わりやすいことが多い一方で、認知症では同じ精神症状で持続することが多いのが特徴です。

【うつ状態とアルツハイマー型認知症の臨床的特徴】

■発症　うつ状態では週か月単位、何らかの契機。アルツハイマー型認知症（以下ADと略）は曖昧。

■物忘れの訴え方　うつ状態では強調する。ADでは自覚が無い。

■答え方　うつ状態では否定的返答（わからない）。ADでは作話、つじつまを合わせる。

■思考内容　うつ状態では自責的、自罰的。ADでは他罰的。

■見当識　うつ状態では軽い割にADL障害強い。ADではADL障害と一致。

■記憶障害　うつ状態では軽い割にADL障害強い、最近と昔の記憶に差が無い。ADではADL障害と一致。最近の記憶が主体。

■日内変動　うつ状態ではあり。ADでは乏しい。

参加者の感想より

【学んだこと】

- ・アルツハイマー型認知症と診断がつくと運転免許停止となるため、診断は慎重にされている。
- ・長谷川式の点数が悪くても、治療すれば改善したことを知った。
- ・初めてMRI検査、RI検査の画像を見たので、新鮮だった。画像を見て診断することがわかった。

【気づいたこと】

- ・アルツハイマー型認知症の特徴として、強いこだわりがある。→現場で思い当たることがある。
- ・グループホーム入所の時点で認知症が進んでいる。→環境が変わって“せん妄”の場合もある。

【明日からの業務に生かせそうなこと】

- ・精神科となると拒否する方が多いが、認知症にならないようにと説明する。
- ・医師が患者の生活も考慮して診断している事に安心した。今後の受診勧奨に繋げる。

（事務局　伊藤記）